



2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年8月13日

上場会社名 株式会社一家ダイニングプロジェクト 上場取引所 東
 コード番号 9266 URL https://ikkadining.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武長 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 高橋 広宜 (TEL) 047-302-5115
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の業績 (2020年4月1日~2020年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	394	△79.7	△329	—	△333	—	△469	—
2020年3月期第1四半期	1,948	18.1	41	—	4	—	△18	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△76.42	—
2020年3月期第1四半期	△2.98	—

- (注) 1. 当社は、2019年6月15日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載していません

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	4,673	599	12.8
2020年3月期	3,391	1,069	31.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 599百万円 2020年3月期 1,069百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期の業績の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の収束時期が見通せない状況の中、今後の事業への影響について適正かつ合理的な算定が困難であるため、引続き未定とさせていただきます。今後の動向を見極めながら、適正かつ合理的な算定が可能になった時点で速やかに開示を行う予定であります。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2021年3月期1Q	6,196,000株	2020年3月期	6,196,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	47,800株	2020年3月期	47,800株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2021年3月期1Q	6,148,200株	2020年3月期1Q	6,196,000株

(注) 当社は2019年6月15日付で普通株式1株につき20株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して発行済株式数 (普通株式) を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通しの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束するものではなく、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦の長期化等による世界経済の不確実性に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による国内外経済に対する影響が追い打ちをかけ、景気の先行きは極めて不透明な状況が続いております。外食業界におきましては、人材不足の深刻化による人件費・採用費の上昇、原材料の高騰や企業間競争の激化に加え、新型コロナウイルス感染拡大に伴う自粛要請による需要の減少等厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は、『あらゆる人の幸せに関わる日本一のおもてなし集団』というグループミッションのもと、より多くのお客様におもてなしによって感動を提供する為に、優秀な人材の確保及びサービス力向上に注力するとともに、お客様・従業員の安全、感染拡大防止への社会的責任を第一に考え、各自治体の要請等に従い臨時休業や、営業時間の短縮等の措置を実施し、営業再開後も営業前の従業員の検温、従業員のマスク着用、アルコール消毒液の設置、手や指の殺菌及び入口や窓の開放・換気設備による店内換気等の新型コロナウイルス感染症の予防対策を講じながら営業を行ってまいりました。

飲食事業においては、都内を中心に主力業態の新規出店、サービス力向上及び店舗オペレーションの改善、自社アプリ会員の獲得によるリピーター客数の増加に継続して注力してまいりました。

新規出店に関しては、都内ドミナントエリアへの出店（屋台屋博多劇場北千住店）の他、屋台屋博多劇場大井町店に続く、「ガレージダイニングプロジェクト」の2号店目となる出店（屋台屋博多劇場千葉ニュータウン店）を行い、これにより、直営店2店舗を出店したほか、既存店のこだわりもん一家神保町店を屋台屋博多劇場へ、爆辛スパゲティ専門店青とうがらし新宿西口店を、こだわりもん一家業態のネクストモデルとしての新業態となる「おでんとさかな にのや」へ業態変更いたしました。一方、売上が想定より下回って推移したことに加え、新型コロナウイルスの感染拡大の影響を大きく受けたことにより、屋台屋博多劇場蒲田店を4月30日をもって退店し、直営店は合計で68店舗となりました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4月4日より飲食事業全店舗において臨時休業の措置を実施しており、5月15日より段階的に営業を再開してまいりましたが、この臨時休業が大きく影響し、既存店（屋台屋博多劇場業態・こだわりもん一家業態）客数は、前年比21.9%と減少し、客単価は前年比98.3%で推移したことにより、売上高は前年比78.5%減となりました。

ブライダル事業におきましては、近年、結婚式のニーズの多様化により少人数婚のニーズが高まり、婚礼1組当たりの組人数が減少傾向にある中、婚礼の主力広告媒体との連携強化による来館数・成約率の向上、サービス力向上及びコスト削減、宴席の新規案件の取り込み及びリピート客数の増加、レストランのサービス力、商品力の向上及び新規客数の増加にも継続して注力してまいりました。

ブライダル事業におきましても、飲食事業同様に新型コロナウイルス感染拡大の影響により、4月10日より臨時休業の措置を実施しており、5月27日より営業を再開しておりますが、結婚式及び宴席の延期やキャンセルが相次ぎ、施行件数が大幅に減少いたしました。

これらのほか、飲食事業における店舗資産に係る62,156千円の減損損失、臨時休業期間における店舗運営にかかる固定費（人件費・地代家賃・減価償却費等）274,157千円を特別損失として計上いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間における売上高は394,537千円（前年同期比79.7%減）、営業損失は329,518千円（前年同期は営業利益41,197千円）、経常損失は333,133千円（前年同期は経常利益4,367千円）、四半期純損失は469,869千円（前年同期は四半期純損失18,465千円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

なお、当第1四半期会計期間より、両事業に係る共通費用の配分方法を変更しており、以下の前年同第1四半期との比較については、前年同四半期の数値を変更後の配分方法で算出した数値で比較しております。詳細は、「第4 経理の状況 1 四半期財務諸表 注記事項（セグメント情報等） 当第1四半期累計期間 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

① 飲食事業

売上高は357,232千円（前年同期比73.2%減）、セグメント損失（営業損失）は249,295千円（前年同期のセグメント利益（営業利益）は19,172千円）となりました。

② ブライダル事業

売上高は37,305千円（前年同期比93.9%減）、セグメント損失（営業損失）は80,222千円（前年同期のセグメント利益（営業利益）は22,025千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期会計期間末における総資産は、売掛金が28,218千円減少したものの、現金及び預金が1,157,913千円、繰延税金資産の増加により投資その他の資産のその他が183,186千円増加したことなどにより、4,673,433千円（前事業年度比1,281,540千円の増加）となりました。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は、買掛金が42,183千円、未払金が85,598千円、未払費用の減少などにより流動負債のその他が85,725千円減少したものの、1年内返済予定の長期借入金が245,357千円、長期借入金が1,709,528千円増加したことなどにより、4,074,259千円（前事業年度比1,751,409千円の増加）となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は、四半期純損失の計上に伴い利益剰余金が469,869千円減少したことにより599,173千円（前事業年度比469,869千円の減少）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大の収束時期が見通せない状況の中、今後の事業への影響について適正かつ合理的な算定が困難であるため、引続き未定とさせていただきます。

今後の動向を見極めながら、適正かつ合理的な算定が可能になった時点で速やかに開示を行う予定であります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	693,325	1,851,239
売掛金	95,507	67,288
原材料及び貯蔵品	34,638	29,924
その他	143,460	143,987
貸倒引当金	△62	△45
流動資産合計	966,868	2,092,395
固定資産		
有形固定資産		
建物	2,141,704	2,157,123
減価償却累計額	△661,148	△692,118
建物(純額)	1,480,555	1,465,004
その他	715,523	723,851
減価償却累計額	△460,274	△478,196
その他(純額)	255,248	245,654
有形固定資産合計	1,735,804	1,710,659
無形固定資産	16,181	14,981
投資その他の資産		
敷金及び保証金	524,136	523,630
その他	148,060	331,246
投資その他の資産合計	672,197	854,876
固定資産合計	2,424,183	2,580,517
繰延資産	840	520
資産合計	3,391,893	4,673,433

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	151,053	108,869
1年内返済予定の長期借入金	492,094	737,451
未払金	313,596	227,998
未払法人税等	—	2,528
資産除去債務	6,381	22,267
その他	178,929	93,204
流動負債合計	1,142,055	1,192,319
固定負債		
長期借入金	862,769	2,572,297
資産除去債務	258,983	248,734
その他	59,043	60,909
固定負債合計	1,180,795	2,881,940
負債合計	2,322,850	4,074,259
純資産の部		
株主資本		
資本金	366,172	366,172
資本剰余金	340,172	340,172
利益剰余金	412,618	△57,251
自己株式	△49,919	△49,919
株主資本合計	1,069,043	599,173
純資産合計	1,069,043	599,173
負債純資産合計	3,391,893	4,673,433

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	1,948,310	394,537
売上原価	655,693	133,662
売上総利益	1,292,616	260,875
販売費及び一般管理費	1,251,419	590,393
営業利益又は営業損失(△)	41,197	△329,518
営業外収益		
受取利息	150	93
受取手数料	149	102
その他	344	400
営業外収益合計	645	597
営業外費用		
支払利息	1,407	3,069
投資有価証券償還損	35,418	—
その他	648	1,142
営業外費用合計	37,474	4,212
経常利益又は経常損失(△)	4,367	△333,133
特別損失		
固定資産売却損	25	—
減損損失	28,212	62,156
店舗臨時休業等による損失	—	274,157
特別損失合計	28,238	336,314
税引前四半期純損失(△)	△23,870	△669,448
法人税、住民税及び事業税	1,701	△10,009
法人税等調整額	△7,105	△189,569
法人税等合計	△5,404	△199,579
四半期純損失(△)	△18,465	△469,869

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染拡大の影響による会計上の見積りについて、前事業年度の有価証券報告書の(追加情報)に記載いたしました仮定に重要な変更はございません。